

議会報告会 会場報告書

担当班： 第3班 班代表者：大西

概 要			
地区名 : 西紀南 日時 : 令和5年11月9日(木) : 19:00~ 場所 : みなみ・ほっと・サロン 参加人数 : 18人(男18人・女0人)	【出席議員】	(1) 開会あいさつ : 大西 (2) 議会報告 : 原田 (3) 質疑応答 : 全員 (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ : 渡辺	挨拶・総括 : 大西 司会進行 : 隅田 報告 : 原田 記録 : 渡辺 前田 会場(マイク) : 萩原

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
みなみ・ほっと・サロンを修繕したい。雨漏りが発生している。修繕に取り組める事業を考えてほしい。	要望として執行者に共有します。
今田こども園の建設地に産廃を埋めたのは、どこの業者か。問題はなかったのか。	当時は、違法な処分方法ではありませんでした。

A こんな地域になったら良いな

【参加者意見・ソフト】

- ・ 住みよい村、助け合う地域
- ・ 多くの子どもが安心して遊べる地域
- ・ 若者と話し合う集落
- ・ 30～60歳の中間年齢層の増加

【参加者意見・ハード】

- ・ 特になし

B Aの達成に足りない地域の担い手

【参加者意見・ソフト】

- ・ 農業の担い手
- ・ 若者世帯の地域行事への参加
- ・ “役”の担い手

【参加者意見・ハード】

- ・ 特になし

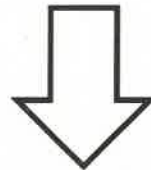
C Bを増やすためのアイデア・提案

【参加者意見・ソフト】

- ・ “役”と仕事の削減、役の簡素化
- ・ 青年部によるイベントのリード
- ・ 子どもが行事に参加しやすいよう、おやつや景品を用意
- ・ 若者が興味を持つコミュニティづくり

【参加者意見・ハード】

- ・ 特になし



理想の地域の将来像は

B不足している担い手は

「コミュニティづくりに参加する若者世代」で

C担い手不足を解決するためには

「残すもの、削るものを精査して効率化を図る、大きなコミュニティづくり」で

A将来的にこの地域は

「子どもや若者と助け合う住みよいまちになる」

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・ 子どもや若者が多く、助け合いながら地域あげて盛り上げて行きたいという声や地域コミュニティの大事さを言われていた。
- ・ 農業の担い手・役員の担い手が育ってほしいという意見や地域を担うリーダーが必要という意見もあった。

A こんな地域になったら良いな

【参加者意見・ソフト】

- ・多くの人や笑顔が集うまち・地域
- ・高齢者が安心して住めるまち
- ・三世代が住めるまち

【参加者意見・ハード】

- ・健康維持のため、自由に使える健康器具が設置されているまち

B Aの達成に足りない地域の担い手

【参加者意見・ソフト】

- ・Uターン希望者（市外に出た人間を呼び戻す）
- ・多くのリーダー
- ・人を集めるツール

【参加者意見・ハード】

- ・特になし

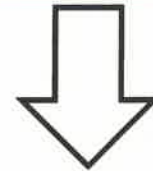
C Bを増やすためのアイデア・提案

【参加者意見・ソフト】

- ・プロの業者へ依頼する
- ・地域の公園
- ・地域活性化のために、まずは夫婦が仲良くすることが大事

【参加者意見・ハード】

- ・健康器具の設置



理想の地域の将来像は

B不足している担い手は

「地域を担うリーダー」 で

C担い手不足を解決するためには

「自治会の統合、健康器具の設置、集落での共同作業」 で

A将来的にこの地域は

「多くの人や子どもが安心して暮らせる、老若男女が集う地域」 なる

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・ソフトの充実では、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちを望んでおられる声や地域を担うリーダーがほしい。
- ・ハードについては、多くの高齢者が集い楽しく会話しながら元気で暮らせるための健康器具の設置を望む意見が出ていた。